

台東区立図書館取組方針 中間のまとめ【概要版】

平成30年12月

台東区教育委員会

目的

平成28年度に策定した「台東区立図書館の基本的な考え方」に、各館の方向性や具体的な取組みなどを加えた「台東区立図書館取組方針」を改めて策定し、目指す図書館像及び基本方針をさらに推進します。

台東区立図書館の現状

台東区立図書館は、中央図書館を核として、分館（根岸・石浜）、分室（浅草橋・谷中）、まちかど（くらまえ・すこやか・なかよし）の計8館で運営しています。

役割

《中央図書館》

多様な図書館サービスを提供するとともに、分館・分室・まちかど図書館を統括的に管理・支援しています。

《分館・分室》

身近に利用できる図書館として、図書館の基本的なサービスを提供しています。

《まちかど図書館》

地域の子供や近隣の住民が利用できる図書館としてサービスを提供しています。

利用状況（全館合計）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
所蔵資料数	665,888点	674,748点	678,018点
入館者数	1,300,325人	1,289,005人	1,262,502人
貸出点数	1,716,003点	1,695,128点	1,652,676点

台東区立図書館に関する調査結果（概要）

平成29年度に、一般区民と来館者を対象として実施した「台東区立図書館に関する調査」では、以下のような結果が出ています。

1. 図書館を利用しない理由として、「本や雑誌は自分で購入するから」「情報収集はインターネットで間に合うから」などが多数を占めています。
2. サービス認知度に比べ利用意向が高いものとしては、「パソコンなどから資料の検索・予約、貸出延長などができる」「区外の図書館から本を取り寄せることができる」などの項目がありました。
3. 今後充実すべき内容では、「本等の図書館資料の充実」「閲覧席の整備・充実」「講演会や朗読会等、大人向けイベントの実施」が上位を占めています。

課題

「基本的な考え方」を基に、図書館の現状や平成29年度の調査結果を踏まえ、以下のように課題を整理しました。

1. 身近な課題などを解決するための情報収集の場であることや、幅広い年代の方・障害者・インターネットを活用する方など、誰もが利用しやすい環境であることが必要です。
2. 子供の読書習慣の定着・継続に向け、読書環境の充実や学校・家庭・地域などとの連携の強化が必要です。
3. 台東区の歴史・文化を後世に伝えるとともに、より多くの方に触れていただくために、郷土資料の保管や活用、及び魅力的な講座や展示などの取組みの充実が必要です。
4. 生涯学習の一翼を担う図書館として、本や活動を通じて人との出会いや交流の場となる必要があります。

目指す図書館像

台東区立図書館は、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与することと生涯を通じて学ぼうとする区民に必要な資料を提供するため、次の2つの図書館を目指します。

区民の役に立つ図書館

生涯学習を支える図書館

基本方針

目指す図書館像を実現するため、次の4つの基本方針に基づき取組みを行います。

「知りたい・学びたい」に応える

地域、区民の関心の高いテーマや課題など、区民に役立つ資料・情報を収集し、区民の求めに応じ的確・迅速に提供します。

子供の成長を支える

子供が読書に親しむための読書環境の充実や、子供の健やかな成長を支えるための読書活動を支援します。

歴史・文化を伝える

先人たちが大切に守り、育み、現代へ継承されてきた郷土資料を収集・保存・展示し、台東区の歴史・文化に親しめる環境を整備します。

絆が生まれる

気軽に図書館を利用し、人との出会いや地域における交流が深まる契機となる取組みを行います。

今後の各館の方向性

〈中央図書館〉

さらなるニーズに応えるための幅広い分野の資料収集やレファレンスサービスの向上に努めます。また、図書館の利用を促進するための情報発信の強化や利用環境の整備を行います。さらに、各種イベントや、歴史・文化を伝える取組みも進めていきます。

〈分館・分室〉

アンケートなどの活用による資料収集や基礎的参考資料の充実を図ります。また、利用環境の整備やバリアフリー化のほか、子供向けの事業や歴史・文化に関する特集などを行います。

〈まちかど図書館〉

アンケートなどを活用した資料収集や、各館の特色を活かした利用促進を行います。

具体的な取組み（主なもの）

4つの基本方針ごとに、今後以下のように取り組んでいきます。

	取組項目	取組内容
「知りたい・学びたい」に応える	資料の充実	区民のニーズや学習意欲に応える資料の充実を図りながら、中央図書館では幅広い分野の資料を収集します。
	レファレンス資料・情報の充実とサービスの利用促進	調べ物に必要な辞書・事典などの資料や公開事例の充実、チラシなどによるサービスの周知を行います。
	テーマコーナーの設置	区の施策や区民の方に関心の高いテーマなどに関して、資料やパンフレットなどによるコーナーを設置します。
	新規 多文化共生推進に関するコーナーの設置	外国人の方が日本語や日本の情報・文化を知るための資料を揃えたコーナーを設置します。
	情報発信の強化	図書館情報誌の発行やホームページの充実のほか、ツイッターの活用など様々な情報発信を行います。
	障害者や高齢者などへの支援	音声・点字資料の貸出や、拡大読書器・拡大鏡などの館内貸出を実施します。また、来館が困難な利用者に対し、宅配・郵送などで資料を提供するサービスの導入検討を行います。
子供の成長を支える	作品に触れる子供向け事業の実施	おはなし会や映画会などを通して、絵本などの作品に触れる機会を増やす事業を実施します。
	子供の調べ学習支援	主体的な調べ学習に役立つパスファインダーの充実や、学校などへまとまった冊数の本を貸し出すサービスを行います。
	新規 教職員や学校図書館ボランティアへの支援	学校での読書活動を支援するため、調べ学習の手引きの配布や講習会などを実施します。
歴史・文化を伝える	歴史・文化に関する資料の収集と提供	台東区の歴史・文化に関連する資料を収集し、区内外の事業へのさらなる活用を図っていきます。
	新規 小中学生が歴史や文化に親しめる環境づくり	小中学生が台東区の歴史や文化に触れる機会を増やすため、その世代がよく利用するスペースに、歴史・文化関連資料を集めたコーナーを設置します。
	郷土・資料調査室の利用促進	郷土・資料調査室について、広報誌・情報誌による周知や、館内案内の見直しを行っていきます。
絆が生まれる	ワークショップなどイベントの実施	本の装備・補修、しおりを作る工作、特集コーナーづくりなど、図書に関連する作業を体験するイベントを実施します。
	子供の読書活動を支える人材の育成	読み聞かせ活動を促進するため、読み聞かせ講習会を実施し、地域で活躍する人材を育成します。
	新規 読み聞かせボランティア連絡会の実施	各ボランティアの活動状況や運営方法などを情報交換する連絡会を実施します。

今後の進め方

具体的な取組み

各取組みは、行政計画のほか個別計画にも反映し、進捗管理を行っていきます。

運営体制

公立図書館の管理運営方式については、大きく分けて「直営」「一部業務委託」「指定管理者制度」の3種の方式があり、区では「一部業務委託」方式により運営しています。

指定管理者制度については、全館に導入している自治体もありますが、適切な蔵書管理や行政との連携のため、中心となる図書館を直営または一部業務委託としている事例も多く見られます。

充実した図書館サービスの提供には蔵書の選定・管理は重要であり、今後も区が主体となって、選書・蔵書管理を行うとともに、郷土・資料調査室などの貴重資料の収集・保存・活用を着実に推進するため、区では中央図書館を引き続き「一部業務委託」により運営していきます。また、分館や分室などについては、利用状況やニーズを踏まえ、引き続き適切な運営方法を検討していきます。

台東区立図書館の整備

台東区立図書館については、今後の人口動向や利用動向などの変化に対応するよう、サービス提供に必要な機能や規模を検証し、必要に応じて適切な整備手法などを検討していきます。